



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



交通死亡事故現場診断への参加！

下田地区

日時： 令和6年3月20日（木） 午後2時00分～
場所： 賀茂郡河津町見高 国道135号
参加者： 下田警察署、交通安全協会等交通関係団体、道路管理者、地元区長等が参加しました。

概要： **当地区安全運転管理協会からは長田雅彦理事など2人が参加**
令和5年12月24日、上記場所において、中央線を越え対向車線に進入した軽四乗用自動車が、対向車（普通乗用自動車）と正面衝突し、軽四乗用自動車の後部席チャイルドシートに乗車していた乳児が死亡した事故の現場診断が実施されました。

現場は、見通しのいい緩やかなカーブ道路で、警察署側から意見を求められた**長田理事**は「運転者の不注意が原因と思われるが、視線誘導の観点から薄くなった車線の塗りなおし等、運転手への注意喚起等が必要」等の意見を述べました。

【事故状況の説明】



【現場の状況】



【診断後の検討会】



富士地区

日時： 令和6年3月25日（月）午後1時30分～午後4時00分

場所： ① 富士市松岡地先道路上
② 富士市岩淵地先道路上

参加者： 交通事故現場地区区長、富士地区地域交通安全活動推進委員、富士市役所（市民安全課・道路維持課）、富士土木事務所、**富士地区安全運転管理協会**、交通安全協会富士地区支部、静岡県警察本部（交通企画課）、富士警察署（地域交通官、交通課長、安全教育係、規制係）

当協会からは、相談役、発生地区の役員理事3名と事務局長が参加しました。

事故概要： ① 午後7時50分頃発生。片側1車線の県道を西から東に向かって走行していた軽トラック（50代男性運転）が道路を歩いて横断していた80代男性と衝突し、歩行者が死亡

② 午後6時10分頃発生。80代女性が道路を横断中に原付バイク（20代男性運転）と衝突し、歩行者が死亡

概要： 上記2件の交通死亡事故について、事故現場において、それぞれの立場から事故原因や交通安全施設の問題点などを分析し、対策を検討しました。

参加者からは、歩道付近への街灯等の設置や路側帯のカラー舗装化、歩道縁石の延長等活発な意見が出されました。

【①松岡地先の現場状況】



【②岩淵地先の現場状況】



【現場診断後の検討会】



藤枝地区

日時： 令和6年3月15日（金）午後1時30分から2時00分の間
場所： 藤枝市高柳1丁目6番37号地先（発生現場）
参加者： 警察本部、藤枝警察署、地元自治会、藤枝市役所、関係機関・団体の関係者18人が参加

当地区安全運転管理協会からは、藁科会長、山崎職員の2名と本年度の安全運転管理推進事業所である（株）エクノスワタナベ、マジオドライバースクール藤枝校から正安全運転管理者が参加

概要： 令和6年2月23日（金）午前5時46分ころ、藤枝市高柳1丁目6番37号地先路上で、東進走行していた軽四乗用車（30代男性運転）が、何らかの理由で道路上に横臥していた歩行者（40代男性）と衝突し、当該歩行者が死亡した交通死亡事故について、当該事故現場において現場診断が実施されました。

参加者からは、

- ・ 道路上に倒れていた理由が分からないが、この場所で事故があったことを事業所等で広く知ってもらい気を付けてもらいたい。
- ・ トラック等の配送車には朝方の事故が多いので気を付けるよう毎日注意喚起している。従業員には、明るく広い道を通勤することや夜間はハイビームを活用する等の指導を徹底したい。
- ・ 歩行者には、明るい服装で出かけることや反射材を活用する等の広報を積極的に実施して行きたい。

などの発言がありました。

【事故状況の説明】



【事故現場の状況】



【現場診断後の検討会】



細江地区

日時： 令和6年3月14日（木）10：00～11：00
場所： 都田総合公園交差点
参加者： 自治会、交通安全協会細江地区支部、地域交通安全活動推進委員、市道路企画課、土木事務所、北行政センター、本部交通企画課、細江警察署等25名
概要： **安管からは影山会長、令和5年度安全運転管理推進事業所（興和㈱、浜松とよおか病院）事務局の4名が参加しました。**
2月15日（木）に発生した軽四乗用自動車と原動機付自転車、普通自動車が衝突し原動機付自転車の運転手が死亡した交通死亡事故の現場診断を行いました。
事故の説明を受けた後、現場を確認した参加者からは、夜間の明るい服装の推進、反射材等の着用の推進、車に比べ発見されづらい二輪車への安全教育、街路灯の設置等の意見が出されました。

【事故状況の説明】



【全員で黙とう】



【事故現場の状況】



【現場診断後の検討会】

